

2022年10月25日

株式会社セレコーポレーション

(コード番号：5078 東証スタンダード市場)

2023年2月期第2四半期決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、2023年2月期第2四半期決算説明会（2022年10月21日開催）にてアナリスト・機関投資家の方々からいただいたご質問をまとめたものです。ご理解いただきやすいよう、一部表現の変更や加筆・修正を行っております。

Q1： 潤沢なキャッシュがございますが、そちらの用途、使い道は決まったのでしょうか？もし決定まで時間がかかるようでしたら、株主還元を強化することも必要なのではないかと思いますが、どのようにお考えでしょうか？

A1： （山口）潤沢なキャッシュにつきましては中国子会社を譲渡したことにより得た資金でございます。この中国子会社の譲渡により得た資金につきましては、社内でシナジーを効かせた成長戦略への投資を検討いたしておりますが、現在のウクライナ情勢、円安等々が懸念されます。これらの外部環境について先行き不透明ということがございますので、慎重に検討を行っているところでございます。なお、「潤沢なキャッシュ」ということでございますが、当社の株主還元の方針といたしましては、当期の利益から配当性向30%を基準に株主還元をさせていただきたいと考えてございますので、こちらの中国子会社の譲渡により得たキャッシュからの株主配当は考えてございません。

Q2： 上期の着地を見ると好調でしたが、今期の着地見込み、業績予想の上方修正の可能性について教えてください。

A2： （山口）上期の実績につきましては好調に推移いたしております。今後の見通しに関することにつきましては、10月14日に公表いたしました「2023年2月期第2四半期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ」の通り、原価高騰など不確定要素があり、現時点での見通しが難しいため前回の公表予想を据え置いておりますが、今後の状況を注視し、業績予想につきまして、見直しが必要と判断した場合には速やかに公表をさせていただきたいと考えております。

▽こちらもおわせてご覧ください

[2023年2月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ](#)

Q3： 資材高騰についてですが、直近では頭打ちとなっているような報道もありますが利益面が改善となるのか、見通しについて教えてください。

A3： （西本）直近の報道などでは資源高については、先物市場では一部値下がりする物も頻繁に報道をされています。しかし私共が使用する建材資材設備におきましては、いまだウクライナ情勢、それから昨今の円安の影響を受けており、今後も商社それからメーカーとも協議をしていますが、未だその値段が上がる傾向については改善されておられません。価格が高止まりして、高い位置で現状維持という物もございますが、今後について原価が低減していく可能性は低いと考えております。上期におきましては、想定の範囲内で値段が上がっておりますが、下期、通期におきましても、原価の3%程度、原価は高騰すると考えております。それに対して当社といたしましては、事業性を堅持しながら、価格転嫁を行っておりますので、利益に対する影響というのは少ないと考えております。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれていますが、これらに限られるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等については、当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

株式会社セレコーポレーション

IRに関するお問い合わせ：ir@cel-co.com

コーポレートサイト：<https://www.cel-co.com/>

IRサイト：<https://www.cel-co.com/ir/>